

復興資材の 利活用で提言

地盤工学会が福島県に



地盤工学会は6日、同学会が取りまとめた「災害からの復興における社会基盤整備への復興資材等の利用のあり方に関する提言」を、福島県に説明した。

復興資材提言委員会委員長の勝見武都大学大学院教授が福島県庁内で関係部に提言内容を説明し、続いて意見交換がおこなわれた（写真）。福島県からは、「再生した土砂の利活用においては、環境安全性を踏まえた合理的な利用が必要である」との意見があった。

これに対し、勝見委員長は「本提言で示したとおり、それぞれ個別の事業の最適化を目指すだけではなく、地域で行われている複数の事業の『総和としての最適化』を目指す取り組みが必要であり、地盤工学会では地盤工学特性と環境安全性の観点に基づき利用用途に応じた合理的な品質基準となる『災害廃棄物から再生された復興資材の有効活用ガイドライン』の策定を進めている」と説明。福島県の復旧・復興に向け、復興資材等の利活用のあり方について話し合われた。